

愛しき日々よ（1984）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 116分
初公開日 1984/11/15

【解説】
芥川賞を受賞した重兼芳子の『やまあいの煙』を保坂延彦が脚色・監督。歌手のもんたよしのりが門田頼命名義で映画初出演を果たし、音楽も担当した。フェリーニに影響を受けたという幻想的な映像が見どころ。
岡山県前島の火葬場で働く瀬川敏夫は、中学卒業と同時に父親から今の仕事を受け継いだ。仕事場に着くと釜の掃除・点検をし、裸になって塩で全身を清め、仏様が来るのを待つ、というのを日課にしていた。老人専門病院で働く小野正子という恋人がいたが、敏夫は自分の仕事を正子に理解してもらえないか不安で、結婚話を切り出せずにいた。ある日、敏夫は道で倒れていた女性を助け家まで送った。彼女は広井ぬいという名で、息子とふたりで山奥の家に暮らしているというのだが…。

【クレジット】

監督	保坂延彦	
製作	荻洲昭之 西岡善信	
原作	重兼芳子	「やまあいの煙」
脚本	保坂延彦	
撮影	戸部健一	
美術	西岡善信	
編集	中静達治	
音楽	もんたよしのり	
助監督	石本俊治	
出演	門田頼命	瀬川敏夫
	かたせ梨乃	小野正子
	鰐淵晴子	岩井光代
	下條正巳	岩井老人
	小坂一也	敏夫の父
	新橋耐子	敏夫の母
	原田大二郎	石川信
	井上昭文	山ノ内和雄
	星セント	Hoshi Sento 医者
	藤原釜足	病院の老人たち
	浦辺粂子	病院の老人たち
	武知杜代子	Toyoko Takechi 病院の老人たち
	加賀邦男	病院の老人たち
	辰巳努	少年時代の敏夫

江波杏子

広井ぬい